

## 介護助手モデル事業報告書（総括）

採用のあった6事業所のうち、県の補助事業（貸金助成）を活用した4事業所にアンケートを実施し、その回答をとりまとめる。

### 1 介護助手導入時に期待した効果は、どの程度あったか。

評価する ↑ ↓ 評価しない	評価点	事業所回答
	5	2
	4	1
	3	0
	2	1
1	0	

#### 【理由】

- ・介護職員の業務負担が減った。
- ・現職員の業務の隙間を埋める役割を果たしたと思う。
- ・介護で戦略にはなれなかったが、普段出来ない雑務で非常に助かった。
- ・直接介護以外の介護を担ってくれた事で、介護職員の意見としては「すごく助かった」と聞いています。

### 2 介護助手が行う業務や業務範囲について、どのように考えるか。

評価内容	事業所回答
現在の業務でいい	0
もう少し広げたい	2
どちらとも言えない	2

#### 【「もう少し広げたい」理由】

- ・介護助手のやる気があり、業務範囲を広げていきたい。
- ・介護現場の業務に対し敷居が高いと思っていた方も資格にとらわれずチャレンジする機運が生まれスキルアップに応えられるよう幅を広げた方が望ましい。

#### 【「どちらとも言えない」理由】

- ・接触してはいけないなどの規制が多いので、今は判断が出来ない。
- ・介護職員からは直接介護でも技術が余り要らない事はやってほしいと聞いています。

## 介護助手モデル事業報告書（総括）

3 介護職と介護助手との連携など業務上での課題や問題はあったか。

評価内容	事業所回答
あり	1
なし	3

【「課題・問題あり」理由】

- ・初めての介護助手の採用だった為、どのように指導していいか分らず戸惑った。

【「課題・問題なし」理由】

- ・互いに声掛け等を行い、連携は取れている。
- ・問題はほとんどなかった。

4. 介護助手業務の選定は、どのような視点から行ったか。（※複数選択可）

選定基準	事業所回答
職員の負担軽減	4
職員からの要望	1
業務の効率化	3
利用者サービスの充実	1
地域住民の活用	1
その他	0

【説明など】

- ・介護職のマニュアル変更に伴い。負担軽減となる業務を抽出した。抽出した業務を介護助手と実施可能かの検討を行った。
- ・より日常的でシンプルな要介護者への接触を期待した。介護するという意識ではなく当たり前の行動行為が自然体で表現できるような現場となった。地域の方々も私たちでも参加できるとの感覚が生じたら幸いだ。

5. 介護助手の介護職への転換を期待するか。

評価内容	事業所回答
期待する	2
期待しない	0
どちらとも言えない	2

## 介護助手モデル事業報告書（総括）

### 【「期待する」理由】

- ・大いに期待する。この体験を踏まえスキルアップを目指して欲しい。
- ・今回は当てはまらなかったが介護を仕事にしてみたい方が介護助手から入って専門的勉強し、介護の仕事に携わっていただけるのではないかと考え期待しています。

### 【「どちらとも言えない」理由】

- ・年齢もありますが期待値を込めて。

## 介護助手導入の評価

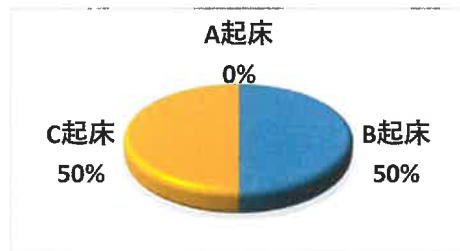
### 1 導入した業務区分 対象事業所 4事業所

#### (1) 周辺業務の難易度

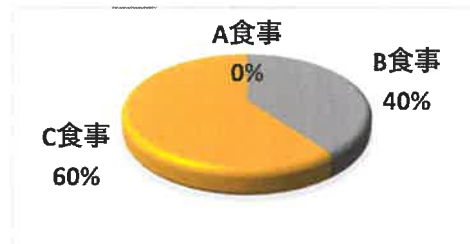
- ① 業務区分A 一定程度の専門的知識・技術を要し、より介護に近い業務
- ② 業務区分B 比較的短時間の研修・指導により得られる程度の専門性が必要
- ③ 業務区分C 単純作業としての環境整備業務等

#### (2) 業務内容ごとの導入状況

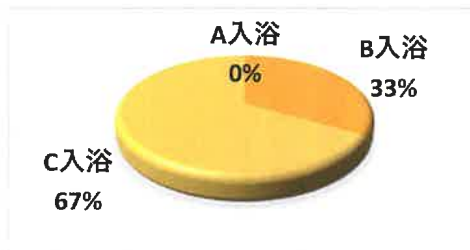
##### ① 起床関連業務



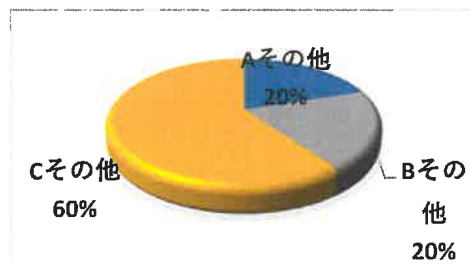
##### ② 食事関連業務



##### ③ 入浴関連業務



##### ④ その他の業務



## 介護助手導入の評価

### 2 業務内容

	区分		
	Aクラス	Bクラス	Cクラス
起床		①身体状況に応じたベッドメイク	①ポータブルトイレ・尿器洗浄・片付 ②フロア換気などの環境整備
食事		①個別の注意を要する配膳・下膳 ②食事介助の補佐	①エプロンかけ、自助具用意 ②おしぼり配り ③テーブル名札、足置き回収 ④テーブル拭き、食後床清掃 ⑤エプロン洗濯、自助具洗い・消毒 ⑥配膳台車の返却
入浴		①浴室の温度管理 ②着脱の補佐 ③浴室の清掃作業	①浴室準備（タオル類、衣服） ②浴室清掃、ゴミ・汚物回収 ③手摺ふき ④加湿器の水補充 ⑤ポータブルトイレ清掃・消毒 ⑥タオル類の洗濯・乾燥・片付け
その他	①認知症の方対応・見守り ②レクリエーション補助 ③趣味活動のサポート ④認知症の方対応・見守り	①レクリエーション補佐 ②利用者とのコミュニケーション ③見守り	①居室の清掃、ゴミ回収 ②手摺拭き ③汚物回収 ④ポータブルトイレ清掃・消毒 ⑤庭の清掃、草花の手入れ、野菜収穫 ⑥野菜収穫や散歩の際の見守り

## 介護助手導入の評価

### 3 雇用環境

対象事業所数 4事業所 採用人数 6名

#### (1) 勤務時間

労働時間	人数
4H未満	0人
4H以上～6H未満	2人
6H以上～8H未満	4人

#### (2) 賃金

賃金	
790円以上～800円未満	0人
800円以上～850円未満	3人
850円以上	3人

#### (3) 勤務日数

勤務日数	
週3日	3人
週3日～週4日	2人
週5日	1人

#### (4) 年齢

年齢	
50歳代	1人
60歳代	3人
70歳代	2人

## 介護助手導入の評価

### 4-1 起床関連業務－業務導入の評価

取組事業所数 1事業所

#### (1) 所属長の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	0
↓	4	0
↓	3	0
↓	2	0
評価しない	1	1

**【理由】**

- ・午睡後のベッドメイクや体調不良で臥床されている方の為の業務であった為、本施設では特に必要なかった。

#### (2) 職員の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	0
↓	4	0
↓	3	0
↓	2	0
評価しない	1	1

**【理由】**

- ・元々特に業務負担が無かった。

#### (3) 業務指示者

担当者	事業所回答
管理者又は主任	0
介護職リーダー	1

**【理由】**

- ・介護職員はシフト制で、当日のリーダーが業務の指示を行った。

#### (4) 業務研修

研修の必要性	事業所回答
必要である	0
必要性は少ない	1

#### (5) 知識・技術

知識・技術の必要性	事業所回答
必要である	0
必要性は少ない	1

## 介護助手導入の評価

### 4-2 起床関連業務—業務導入の効果

(1) 介護職の業務ほどの程度軽減されたか。

軽減された  軽減されない	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">評価点</th> <th style="width: 80%;">事業所回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </tbody> </table>	評価点	事業所回答	5	0	4	0	3	0	2	0	1	1
評価点	事業所回答												
5	0												
4	0												
3	0												
2	0												
1	1												

(2) 介護職以外で導入の影響があったか。

影響の有無	事業所回答
影響があった	0
影響はなかった	1

(3) 介護職の反応はどうか。

反 応	事業所回答
好意的	0
戸惑いあり	0
変わらない・無し	1

(4) 利用者の反応

反 応	事業所回答
好意的	0
戸惑いあり	0
変わらない・無し	1

### 4-3 起床関連業務—今後の導入について

(1) この業務について継続して介護助手を導入するか。

導入の意向	事業所回答
導入する	0
導入しない	1

(2) 経費面から見てこの業務への介護導入をどう考えるか？

・未回答



## 介護助手導入の評価

### 5-1 食事関連業務—業務導入の評価

取組事業所数 4事業所

#### (1) 所属長の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	1
↕	4	2
↓	3	0
↓	2	0
評価しない	1	1

**【理由】**

- ・介護助手に業務を担わせたことで、介護職員の負担軽減につながっている。
- ・マニュアルの見直し、効率化が図られた。
- ・特に利用者様が多くない小規模なので、業務に携わる時間が少ない。

#### (2) 職員の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	1
↕	4	1
↓	3	1
↓	2	0
評価しない	1	1

**【理由】**

- ・介護助手自身が業務に慣れ、スムーズに遂行できている。
- ・管理職自身は、以前から計画していたことが介護助手の方が手伝ってくれることで、助かったが、現場の職員は物足りなさを感じたようである。
- ・関連業務が少ない為、あまり意味がない。

#### (3) 業務指示者

担当者	事業所回答
管理者又は主任	2
介護職リーダー	2

**【理由】**

- ・管理者（または主任介護職員）が業務の指示を行った。
- ・管理者で本人達が勤務できる日程を相談しながら働ける希望日に勤務してもらった。
- ・介護職員はシフト制で、当日のリーダーが業務の指示を行った。

## 介護助手導入の評価

### (4) 業務研修

研修の必要性	事業所回答
必要である	2
必要性は少ない	2

#### 【必要である理由】

- ・新しく業務を追加する際は研修を実施。

#### 【必要性は少ない理由】

- ・採用決定後補助して頂く中、今回は介護助手の方たちが高齢ということもあって、毎日様子を見る中、必要に応じて指導を試みた。採用して1か月後に研修の話があったが、本人達も年齢的な事もあったのか、研修等に前向きではなかった。

### (5) 知識・技術

知識・技術の必要性	事業所回答
必要である	2
必要性は少ない	2

#### 【必要である理由】

- ・衛生面の関係から一定の知識が必要

#### 【必要でない理由】

- ・今後、短い時間帯でも介護の業務にかかわれないか面談しましたが、畑や調理等のお仕事に興味があるという事でした。その都度、必要な知識等を取り組んでいきたい。

## 5-2 食事関連業務—業務導入の効果

### (1) 介護職の業務はどの程度軽減されたか。

軽減された



軽減されない

評価点	事業所回答
5	1
4	2
3	0
2	0
1	1

#### 【理由】

- ・介護助手が業務に加わることで、介護職員は他の業務に従事することができた。
- ・マニュアルの見直し、効率化が図られた。

## 介護助手導入の評価

(2) 介護業務以外で導入の影響があったか。

影響の有無	事業所回答
影響があった	3
影響はなかった	1

【影響があった理由】

- ・介護助手の助言等で、職員の意識が変わってきた。

(3) 介護職の反応はどうか。

反 応	事業所回答
好意的	2
戸惑いあり	1
変わらない・無し	1

【理由】

- ・介護助手自身が業務に慣れてスムーズに遂行されるにあたり、職員は好意的に受け入れた。

(4) 利用者の反応

反 応	事業所回答
好意的	1
戸惑いあり	0
変わらない・無し	3

### 5-3 食事関連業務—今後の導入について

(1) この業務について継続して介護助手を導入するか。

導入の意向	事業所回答
導入する	2
導入しない	2

【導入しない理由】

- ・今回、別の形で採用する事はあるかもしれませんが、介護の助手としては継続は厳しい感じがあります。やはり、現場では介護の戦略としての人材が必要だと思いました。募集で高齢者の方しか反応がなかった。

(2) 経費面から見てこの業務への介護導入をどう考えるか？

- ・介護職員が利用者に直接関わる時間が増加した。残業時間が減少したことから、介護助手の導入を継続していく。
- ・今回は、介護助手採用促進モデル事業という補助金で大変有難く活用させて頂きましたが、やはり現場の負担軽減を実際に考えた時に、今後の展開として賃金を支払う事に抵抗があります。

## 介護助手導入の評価

### 6-1 入浴関連業務—業務導入の評価

取組事業所数 3事業所

#### (1) 所属長の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	1
↕	4	1
↓	3	1
↓	2	0
評価しない	1	0

#### 【理由】

- ・介護助手に業務を担わせたことで、介護職員の負担軽減につながっている。
- ・マニュアルの見直し、効率化が図られた。
- ・他の業務に比べ入浴業務は多忙なので、関連業務を分担したことで介護の負担を減らせた。
- ・介護助手導入に伴い、業務の見直しができ効率化が図られた。

#### (2) 職員の評価

評価する	評価点	事業所回答
↑	5	1
↕	4	2
↓	3	0
↓	2	0
評価しない	1	0

#### 【理由】

- ・介護助手自身が業務に慣れ、スムーズに遂行できている。
- ・入浴前後の業務を介護助手が担ってくれて、次の業務に移る事ができた。
- ・介護職員は雑務の負担感に苛まれていたが、介護助手自身が業務に慣れた後は双方スムーズに業務を遂行し、概ね職員の評価は高かった。

#### (3) 業務指示者

担当者	事業所回答
管理者又は主任	1
介護職リーダー	2

#### 【理由】

- ・管理者（または主任介護職員）が業務の指示を行った。
- ・介護職員はシフト制で、当日のリーダーが業務の指示を行った。

## 介護助手導入の評価

### (4) 業務研修

研修の必要性	事業所回答
必要である	2
必要性は少ない	1

【必要である理由】

- ・新しく業務を追加する際は研修を実施。
- ・採用後、介護労働安定センターの協力で研修した。

### (5) 知識・技術

知識・技術の必要性	事業所回答
必要である	2
必要性は少ない	1

【必要である理由】

- ・衛生面の関係から一定の知識が必要
- ・介護保険制度の趣旨を踏まえた業務のあり方等、ベーシックの知識、技術の習得を望む。


### (6) その他

- ・全体会議で業務の確認、申し合わせを行っている。

## 6-2 入浴関連業務—業務導入の効果

### (1) 介護職の業務はどの程度軽減されたか。

評価点	事業所回答
5	1
4	1
3	1
2	0
1	0

軽減された  
  
 軽減されない

【理由】

- ・介護助手が業務に加わることで、介護職員は他の業務に従事することができた。
- ・入浴後に他業務に移れるので効率よく介護ができた。
- ・介護職員が産休で手薄になった現状から強力な助っ人となるとともに、資格云々以前の日常業務にメリハリがついた。

### (2) 介護業務以外で導入の影響があったか。

影響の有無	事業所回答
影響があった	2
影響はなかった	1

## 介護助手導入の評価

### 【影響があった理由】

- ・介護助手の助言等で、職員の意識が変わってきた。
- ・業務に広がりが生じた。

### (3) 介護職の反応はどうか。

反 応	事業所回答
好意的	3
戸惑いあり	0
変わらない・無し	0

### 【理由】

- ・介護助手自身が業務に慣れてスムーズに遂行されるにあたり、職員は好意的に受け入れた。
- ・専門的な技術がいないが時間を取られる掃除等が分担できてよかった。

### (4) 利用者の反応

反 応	事業所回答
好意的	1
戸惑いあり	0
変わらない・無し	2

### 【理由】

- ・介護業務に日頃携わっている介護職員に比べ、袴の取れたソフトな対応が良い。
- ・介護助手採用から日が浅いため、ご利用者の反応は確認が取れていません。

## 6-3 入浴関連業務—今後の導入について

### (1) この業務について継続して介護助手を導入するか。

導入の意向	事業所回答
導入する	2
導入しない	1

### 【導入する理由】

- ・資格があるかどうかより先にまず多くの方々が参加できる就労先として介護助手の位置づけをするべきだと思う。このことが介護現場の人材難解消につながると考えます。

### 【導入しない理由】

- ・とても助かったと職員からも聞いているが、一日の業務量で考えると業務量が少ない。

## 介護助手導入の評価

(2) 経費面から見てこの業務への介護導入をどう考えるか？

- ・介護職員が利用者に直接関わる時間が増加した。残業時間が減少したことから、介護助手の導入を継続していく。
- ・全然問題ないと思う、介護人材の発掘にもつながるし歓迎する。

## 介護助手導入の評価

7-1 その他の業務—業務導入の評価

取組事業所数 4事業所

### (1) 所属長の評価

評価する ↑ ↓ 評価しない	評価点	事業所回答
	5	1
	4	2
	3	1
	2	0
	1	0

#### 【理由】

- ・介護助手に業務を担わせたことで、介護職員の負担軽減につながっている。
- ・マニュアルの見直し、効率化が図られた。
- ・介護助手制度導入に伴い、業務の見直しができ効率化が図られた。
- ・身体介護関連の助手業務に比べ、環境整備等の業務が介護助手には重要だと感じた。特に知識が必要なく介護職員が指導、声掛けしなくてよい。
- ・これまで介護職員が介護業務で出来なかった畑の収穫等が利用者とスムーズにできた事が大変良かった。介護職員の負担軽減が図られた。ただ、制度に規制があった為業務にあいまいになりがちなところがあった。

### (2) 職員の評価

評価する ↑ ↓ 評価しない	評価点	事業所回答
	5	1
	4	1
	3	2
	2	0
	1	0

#### 【理由】

- ・介護助手自身が業務に慣れ、スムーズに遂行できている。
- ・介護職員は雑務の負担感に苛まされていたが、介護助手自身が業務に慣れた後は双方スムーズに業務を遂行し、概ね職員の評価は高かった。
- ・特に業務量が多くないので何を指示してよいか迷った。

### (3) 業務指示者

担当者	事業所数
管理者・主任	2
介護職リーダー	2



## 介護助手導入の評価

### 【理由】

- ・介護職員はシフト制で、当日のリーダーが業務の支持を行った。
- ・管理者で、本人達が勤務できる日程を相談しながら働ける希望日に勤務してもらった。

### (4) 業務研修

研修の必要性	事業所数
必要である	2
必要性は少ない	2

### 【必要である理由】

- ・新しく業務を追加する際は研修を実施。
- ・採用後、介護労働安定センターの協力で研修した。
- ・採用決定後補助して頂く中、今回は介護助手の方たちが高齢ということもあって、毎日様子を見る中、必要に応じて指導を試みた。採用して1か月後に研修の話があったが、本人達も年齢的な事もあったのか、研修等に前向きではなかった。

### (5) 知識・技術

知識・技術の必要性	事業所数
必要である	1
必要性は少ない	1

### 【必要である理由】

- ・衛生面の関係から一定の知識が必要
- ・介護保険制度の趣旨を踏まえた業務のあり方等、ベーシックの知識、技術の取得を望みたい。

### 【必要でない理由】

- ・業務内容（範囲）によっては、知識・技術は必要ない。

## 7-2 業務導入の効果

### (1) 介護職の業務はどの程度軽減されたか。

軽減された	評価点	事業所回答
	5	1
	4	2
	3	0
	2	1
軽減されない	1	0

### 【理由】

- ・介護助手に業務を担わせたことで、介護職員の負担軽減に繋がっている。
- ・マニュアルの見直し、効率化が図られた。

## 介護助手導入の評価

- ・介護職員が産休で手薄になった現状から強力な助っ人になるとともに、資格云々以前の日常業務にメリハリがいった。
- ・サービス提供時間内でも介護助手が行ってくれると介護職員はサービス提供時間外では、カンファレンス等が行えた。
- ・お庭の清掃、畑の野菜の収穫など、利用者やご家族がとても喜んでくれたこと。また、普段時間を作れずにやり残していた雑務などで、精神的にも負担の軽減がされた。

(2) 介護業務以外で導入の影響があったか。

影響の有無	事業所回答
影響があった	3
影響はなかった	1

【影響があった理由】

- ・介護助手の助言等で、職員の意識が変わってきた。
- ・業務に広がりが生じた。
- ・介護助手の働きでお庭がきれいになって、とても気持ちよかった。

(3) 介護職の反応はどうか。

反 応	事業所回答
好意的	3
戸惑いあり	1
変わらない	0

【理由】

- ・介護助手自身が業務に慣れてスムーズに遂行されるにあたり、職員は好意的に受け入れた。
- ・専門的な技術がいらないが時間を取られる掃除等が分担できてよかった。
- ・雇用直後はマンツーマンでの指導が必要だったため、介護職員の負担感が強まったが、雑務等で整理整頓、清掃など、気持ち良く勤務が出来てとても助かった。

(4) 利用者の反応

反 応	事業所回答
好意的	1
戸惑いあり	0
変わらない・無し	3

【理由】

- ・介護業務に日頃携わっている介護職員に比べ、袴の取れたソフトな対応が良い。
- ・一緒に散歩やおやつ作りの際は喜んでいましたが、時間と共に忘れていったようです。

## 介護助手導入の評価

### 7-3 今後の導入について

(1) この業務について継続して介護助手を導入するか。

導入の意向	事業所回答
導入する	2
導入しない	2

#### 【導入する理由】

- ・資格があるかどうかより先にまず多くの方々が参加できる就労先として介護助手の位置づけをするべきだと思う。このことが介護現場の人材難解消につながると考えます。

#### 【導入しない理由】

- ・とても助かったと職員からも聞いているが、一日の業務量で考えると業務量が少ない。
- ・今回、別の形で採用する事はあるかもしれませんが、介護の助手としては継続は厳しい感じがあります。やはり、現場では介護の戦略としての人材が必要だと思いました。募集で高齢者の方しか反応がなかった。

(2) 経費面から見てこの業務への介護導入をどう考えるか？

- ・介護職員が利用者に直接関わる時間が増加した。残業時間が減少したことから、介護助手の導入を継続していく。
- ・全然問題ないと思う、介護人材の発掘にもつながるし歓迎する。
- ・今回は、介護助手採用促進モデル事業という補助金で大変有難く活用させて頂きましたが、やはり現場の負担軽減を実際に考えた時に、今後の展開として賃金を支払う事に抵抗があります。